

栗橋国際カントリー倶楽部

令和3年度 理事会 議事録

1. 開催日時 令和3年9月5日（日） pm1:10～pm3:00
2. 出席者
理事長 塚田 進 キャプテン 石井 宏
理事 日下部 武一 木戸 外司 山口 智紹 坂根 英一
以上6名出席 事務局 森田 長南 安田 廻谷
3. 塚田理事長挨拶の後、本年4月1日に就任した日下部武一理事・ハンディキャップ委員会委員長の紹介があり挨拶があった。
4. 事務局から次の報告があった。
 - (1) スーパー堤防工事について
現在のコースへの階段、進入路部分の堤防工事が令和3年11月から令和4年3月まで行われる計画で、その工事期間中は階段、進入路が現在の位置より上流側200メートル以内に仮設の切回し道路を建設調整中であると報告があった。
 - (2) コースレートの更新について
前回の査定から10年以上経過したため、今年7月に関東ゴルフ連盟の査定委員6名による査定が行われ、コースレートが更新された。また、査定後に査定委員方から当倶楽部のベントグリーンに対してメンテナンスが非常に素晴らしいという評価を頂いたと報告があった。
5. 報告の後、理事から上程議案があり審議に入った。
 - (1) 競技における進行時間の短縮について
競技における進行時間のペナルティ対象はハーフ2時間30分を超えた場合としていたが、JGAルール改正後の現在では、ハーフ2時間15分を超えた場合に短縮できないかとの提案があり、協議の結果、『第1組目はハーフ2時間15分を超えた場合、第2組目以降はハーフ2時間15分を超え、且つ前の組と10分以上間を空けてハーフターンまたはアテストした場合』とすることで、理事全員の賛成をもって可決した。また、選手一人の持ち時間（40秒）についても競技の際には組合せ表に明記することとした。
これについては、本年10月の競技から告知し、令和4年1月の競技から施行することとした。
 - (2) 1番、3番ホールのOBラインについて
白杭のない区域のOB境界線について、分かりにくいとの意見が出たが、『カート道路の左縁をもってOBとする』ことを確認しあった。
6. 会員からの問い合わせにより、研修会の無料練習プレイについて審議した。
数年にわたり当倶楽部において、活動優遇措置で無料プレイをしていたが、関東倶楽部対抗において結果が出ない事が毎年続き、『無料でプレイすることが選手選考の目的となり、大会で上位を目指すという本来の目的ではなくなっているのではないか。』と審議され、全員一致で可決し、2022年度より無料でのプレイは行わないこととした。
7. 以上をもって石井キャプテン挨拶の後、理事会を終了した。